学校番号	1206

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	硬筆レッスン帳（教育図書）・筆ペン練習帳（NHK 出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

目的、用途に即した書や生活を豊かにする書の表現方法を身につける。日常生活で使用している書き文字の美しい字形の基本、伝統的な形式の決まった実用的な書、生活を彩る書を学習し、自分自身の表現作品を創作する。自分や他の人の作品に対する思いを理解するために、それを言葉にする言語活動を行い、鑑賞能力も高める。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、創造的に構想を練り、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を深く味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・用具・用材の特徴と表現効果との関わりが理解できる。 ・目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付ける。 ・漢字と仮名の構成や文字の大きさによる調和した表現の技能を身に付ける。	・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫する。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫する。 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、美を味わい捉える。	・主体的に様々な用具・用材で表現された書の幅広い表現の学習及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	硬筆と筆ペンでの楷書の基本練習	硬筆で楷書の基本とそれに調和する平仮名を学ぶ	a:用具・用材と執筆法、運筆方法による表現効果の違いを理解し、技能を身に付ける。（知・技） b:字形や文字の大きさによる全体構成、表現効果について構想し工夫する。（表） c:主体的に表現の創造的活動に粘り強く取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度
		筆ペンで楷書の基本とそれに調和する平仮名を学ぶ	a:用具・用材と執筆法、運筆方法による表現効果の違いを理解し、技能を身に付ける。（知・技） b:字形や文字の大きさによる全体構成、表現効果について構想し工夫する。（表） c:主体的に表現の創造的活動に粘り強く取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度
		様々な形式の硬筆作品を学ぶ ・短冊(七夕飾り) ・履歴書 ・四字熟語とその説明 ・文学作品の一節を書く	a：漢字仮名交じりの様々な形式の書の構成・表現が理解できる。（知） b： 目的や用途、意図に応じた効果的な表現や配字等の構成による表現効果について構想し工夫する。（表） C：主体的に創造的な表現の活動に粘り強く取り組もうとしている。（態）	作品	作品	授業態度
	硬筆と筆ペンでの行書の基本練	硬筆と筆ペンで行書の基本とそれに調和する平仮名を学ぶ	a:用具・用材と執筆法、運筆方法による表現効果の違いを理解し、技能を身に付ける。（知・技） b:字形や文字の大きさによる全体構成、表現効果について構想し工夫する。（表） c:主体的に表現の創造的活動に粘り強く取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度

後期	筆ペン作品創作	様々な形式の筆ペン作品を学ぶ ・祝儀袋 ・芳名録等の書き方	a ：用具・用材と執筆法、運筆方法による表現効果の違いを理解し、技能を身に付ける。（知・技） b: 目的や用途に応じた効果的な表現形式や配字等による構成や意図に基づいた表現について構想し工夫する。（表） b：生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。（思） c: 主体的に表現の創造的活動に粘り強く取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度
	日常生活を彩る書作品	筆文字の漢字一字創作を色砂で仕上げる	a:書体の特徴と風趣の違い、用筆・運筆法の関連性を理解し、効果的に表現する技能を身に付ける。（技） b: 目的や用途に応じた効果的な表現形式や配字等による構成や意図に基づいた表現について構想し工夫する。（表） c: 主体的に表現の創造的活動に粘り強く取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度
	硬筆作品まとめ	硬筆創作作品 ・世界遺産の紹介文を書く	a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体構成が理解できる。（知） b:目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫する。（思・表） c: 主体的に表現の創造的活動や鑑賞活動に粘り強く取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度